

各位

上場会社名 朝日工業株式会社  
代表者 代表取締役社長 村上 政徳  
(コード番号 5456)  
問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 矢口 誠  
(TEL 03-3987-2161)

## 中期経営計画(ASAHI2018 プロジェクト)に関するお知らせ

当社グループは、この度、2018 年度を最終年度とする 3 年間の中期経営計画「ASAHI2018 プロジェクト」を策定しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 本中期経営計画の位置づけについて

当社グループは東日本大震災以降厳しい事業環境に直面し、更には、2014 年 2 月の雪害による製鋼工場の操業一時停止などもあり、2010 年度以降、赤字決算を余儀なくされましたが、2014 年度には黒字化、2015 年度は本日開示いたしました「通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」の通り、期初予想を大幅に上回る利益計上とともに、累積損失も一掃する見込みです。

本中期経営計画期間内は、鉄鋼建設資材事業については、2020 年に予定されている東京オリンピック関連案件や都市再開発案件等の需要が見込まれます。また、農業資材事業についても、当社が強みとする有機質肥料の需要は安定推移するものと考えております。しかしながら、今後、鉄鋼、農業事業とも、マーケット環境は大きく変化していくものと予想されることから、2019 年度以降も見据えたマーケット環境変化にも耐えられる事業戦略、経営基盤強化への戦略を策定いたしました。

尚、計画数値、経営指標については、2015 年度業績を確認したうえで確定させることから、2016 年 5 月に公表する予定です。

#### 2. 基本方針

資源循環型社会の担い手として、『スペシャリティ(明確な強み)』を持つ会社へ  
～高品質へのこだわりをもって技術・開発力を更に強化し、

『スペシャリティ分野(強みを有する分野)』のリーダーを目指す～

#### 3. スローガン

**ASAHI 2018** プロジェクト

**Ambition**

…大いなる志をもって

**Speciality**

…スペシャリティ分野のリーダーになるべく

**Action**

…直ちに行動を起こします。

**High quality**

…高品質へのこだわりを持って

**Innovation**

…不断の変革に挑戦します。

#### 4. 主要事業の事業戦略

当社が優位性を持つ技術・開発力を更に強化し、各事業におけるスペシャリティ分野(強みを有する分野)でのリーダーを目指します。

また、当事業を、基盤事業、収益事業、挑戦事業に分類し、経営資源の投下、事業ポートフォリオの見直しを適時適切に行ってまいります。

(基盤事業) 鉄鋼建設資材事業、肥料事業

(収益事業) 乾牧草事業

(挑戦事業) 種苗事業

##### (1)鉄鋼建設資材事業

鉄鋼建設資材事業においては、関東の電炉メーカー小形棒鋼シェアにおいてトップグループを目指します。特に、製造技術の優位性を活かし、今後も底固い需要が見込まれる高強度鉄筋、太径鉄筋、ネジ節鉄筋の製造・販売に注力します。

(重点施策)

- ・高強度鉄筋、太径鉄筋、ネジ節鉄筋への経営資源のシフト
- ・電力原単位の低減など本源的なコストダウンの追求
- ・製品ポートフォリオの見直しなどによる生産性の向上

##### (2)農業資材事業

農業資材事業においては、肥料事業を基盤事業と位置付け、我が国の農業に「なくてはならない」企業となることを目指します。また、中国をはじめとする東南アジアにおける需要拡大が見込まれる乾牧草事業、同様に、海外マーケットでの拡大が見込まれ、肥料事業とのシナジーが期待される種苗事業を成長分野と位置付け、更なる拡大を図ります。

(重点施策)

###### ①肥料事業

- ・製造技術に強みを有する粒状有機質肥料の製造・販売数量拡大
- ・未利用資源活用による原料開発、関東工場・千葉工場・関西工場の3工場一体運営による生産効率化
- ・中国における肥料事業の収益基盤構築

###### ②乾牧草事業

- ・豪州トップクラスの輸出企業であるジョンソン・グループとの協働による日本、中国マーケット等への販売拡大

###### ③種苗事業

- ・自社品種の開発と国内外への販売拡大

#### 5. 経営基盤強化への戦略

- ・監査等委員会設置会社への移行によるガバナンス強化
- ・執行役員制度の導入や人事制度の見直しによる人財の活性化
- ・関連会社への管理業務集約による業務効率化、ノウハウの共有化
- ・安定的収益による有利子負債圧縮

以上